

科目名	倫理学	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Ethics	開講年次	■1年 ■2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	ぜにや あきお	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	銭谷 秋生	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
授業のテーマ	善く生きるとはどういうことであり、正義にかなった社会とはどのような社会なのかについての倫理学の探究の歴史を理解し、それを踏まえて現代社会の倫理的諸問題について自ら考察できるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 倫理学が問題とする善や正義についての多様な見方を理解できる。 2. それらを踏まえて、現代において生じている倫理的諸問題を見出し、それらを論理的に考察できる。			
授業概要	「単に生きるのではなく、よく生きることが大切である」というソクラテスの問題提起とともに倫理学は始まりました。しかし「善」とは何であり、それは「正義」とどのように関連するのか。この講義は、倫理学の原初問いを受け止めるところから始め、その後の主だった展開を追跡し、現代に生じてきている倫理的諸問題と取り組むための足場を確保するところまで進みます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション：なぜ善や正義について考えなくてはならないのか			
第2回	倫理学の原初問い：ソクラテスの言う「魂の気遣い」とは何を問題とするものだったのか			
第3回	ソクラテス VS. ソフィストたち：善とは何かという問いと、善らしく見せればそれでよいとする論理の対立			
第4回	アリストテレスによる応答(1)：刻まれぬ法としての正義			
第5回	アリストテレスによる応答(2)：正義の種別化とその限界			
第6回	功利主義(1)：最大多数の最大幸福が善であるとする説（ベンサム論理）			
第7回	功利主義(2)：最大多数の最大幸福という倫理で十分か			
第8回	合理主義的倫理学(1)：幸福に値することとしての道徳（カントの倫理学）			
第9回	合理主義的倫理学(2)：「目的の国」と世界市民			
第10回	功利主義と合理主義的倫理学の対比：結合双生児の分離手術をめぐる論争を例にして			
第11回	現代の正義論(1)：ロールズによる正義の二原理の導出			
第12回	現代の正義論(2)：ロールズの正義論とリベラリズム			
第13回	現代の正義論(3)：ノージックの正義論（自己所有権論）			
第14回	現代の正義論(4)：ノージックとリバタリアニズム			
第15回	現代の正義論(5)：リベラリズムとリバタリアニズムの対立を超えて			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 毎回、次回の講義プリントをポータルサイトに掲示しますから、必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。（1時間程度） 2. 日ごろから新聞に目を通し、現在どのような倫理的問題が生じているのかを知ってください。（1時間程度）			
履修条件 受講のルール	1. 一つのテーマについて複数回連続で講義しますから、欠席しないようにしてください。 2. 毎回講義プリントをポータルサイトに掲示しますので、欠席した場合は次回まで必ず欠席した回のプリントに目を通してください。			
テキスト	特定のテキストは使いません。毎回、ポータルサイトに掲示する講義プリントに沿って講義していきます。			
参考文献・資料	参考文献として、以下のものを推薦します。 『入門講義 倫理学の視座』新田孝彦、世界思想社(2000)			

	『現代倫理学入門』加藤尚武、講談社学術文庫(1997) その他の参考文献は講義の中で随時紹介します。
成績評価の方法	【質問票(20%)、定期試験(80%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	隔週水曜日13:00~14:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	みなさんはこれまで、「この社会は本当に正義にかなった社会なのだろうか?」といった問いに襲われた経験がきっとあると思います。倫理学は、そのような問いと真正面から向かい合う学問です。一緒にこのような問題を徹底的に考えるという知的冒険をしてみましょう。